

改正を行うため提案されたものであります。

質疑に入り、委員からは、提案理由にある新たな障害保健福祉施策とは具体的にどのような狙いがあるのかとの質疑がなされ、福祉生活あんしん課長からは、障がい者の定義に新たに難病等を追加し、障がい福祉サービス等の対象とすること、また、障がい者に対する支援として、共同生活介護ケアホームを共同生活支援グループホームに一元化し、サービスとして選択肢が拡大されるなど柔軟なサービス提供が行われるようになること、さらに、障がい者に対する理解を深めるための研修・啓発事業や、障がい者やその家族、地域住民等が自発的に行う活動に対する地域支援事業など、地域でも障がい者の日常生活や社会生活の支援を実践できるようにするものであるとの答弁を受けたところであります。

採決の結果、本案は、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上で厚生常任委員会に付託になりました案件審査の報告を終わります。

○小関勝助議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○小関勝助議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第2、議案第53号 長井市地域福祉基金条例の一部を改正する条例の制定についての1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第53号について、厚生委員長の報告は、原案可決であります。

厚生委員長の報告のとおり決するにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○小関勝助議長 ご異議なしと認めます。

よって、議案第53号は、厚生委員長報告のと

おり決定いたしました。

産業・建設常任委員会審査報告

○小関勝助議長 次に、産業・建設常任委員会の審査の報告を求めます。

町田義昭委員長。

（町田義昭産業・建設常任委員長登壇）

○町田義昭産業・建設常任委員長 おはようございます。

平成25年第4回市議会定例会において産業・建設常任委員会に付託になりました議案1件、請願1件について、審査いたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

本委員会は、会議日程に従い、去る6月19日に開催し、委員全員出席のもと、紹介議員、当局関係者の出席を求め、審査いたしております。

なお、議案、請願の当該箇所につきましては、現地踏査をいたしましたことを申し添えます。

それでは、議案第51号 宅地開発事業用地の取得についてのご説明を申し上げます。

本案は、長井市宅地開発事業用地を取得するため、長井市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により提案されたものであります。

質疑に入り、委員からは、将来的に解散する予定の県の住宅供給公社から指導を受けて展開していきたいということだが、どのような頻度で具体的にどういう指導を受けているのかとの質疑がなされ、まち・住まい整備課長からは、全体的な打ち合わせ、農地転用、開発行為、設計などについて協議を行った。工事に当たっていろいろなアドバイスなど、今後も頻繁に協議、指導を受けて円滑に進めていきたいとの答弁を受けたところであります。

さらに、委員からは、行政としてやれるとこ

ると、かかわってはいけない部分があるのではないかとの質疑がなされ、まち・住まい整備課長からは、開発事業の実施に当たり、行政でできない部分はないと思う。ノウハウ、知識が不足しているので、そういった部分で経験の豊富な公社から指導を受けている。また、県から起債の許可も受けているとの答弁を受けたところであります。

さらに、委員からは、行政でこれからも展開をして3年以内に完売できる自信と確信があるのかとの質疑がなされ、まち・住まい整備課長からは、山形県宅地建物取引業協会に販売促進の協議を行っている。宅建協会からは、この場所、この価格であれば全て完売できるだろうというアドバイスを受けているので、今のところ3年以内に完売できる自信を持っているとの答弁を受けたところであります。

さらに、委員からは、こんなに条件が整っていれば民間の業者でも十分できると思うが、行政で行うのと何が違うのかとの質疑がなされ、まち・住まい整備課長からは、民間の場合は宅地造成と道路、関連する水路整備など全てが価格に転嫁されるので、思っているような単価設定ができない。今回、事業区域内の道路や隣接する河川は別事業で整備することから宅地価格に転嫁されず、購入しやすい価格設定ができたとの答弁を受けたところであります。

また、委員からは、キャンペーン、広告等の販売をするための費用はどこから捻出する予定なのかとの質疑がなされ、まち・住まい整備課長からは、起債計画に計上しているので26年度から予算計上していきたいとの答弁を受けたところであります。

また、委員からは、地元の建築業者は仕事がなく困っている。市内業者への優遇策についての考えはあるのかとの質疑がなされ、まち・住まい整備課長からは、新築については、市内業者が建設した場合に最大限度額40万円の補助

金交付制度は既に設けている。市内の業者が受注できるような施策をさらに検討していきたいとの答弁を受けたところであります。

討論に入り、委員からは、この事業そのものを展開する主体が行政だということは問題があると思うが、市民から土地を安価に提供、協力していただけること、また、28年度までに全部完売するという課長の答弁を聞いて、市民から土地を提供いただいてそれを買上げるという今回の議案については賛成であるとの意見が出されたところであります。

また、委員からは、水路や道路は行政で整備したとしても宅地開発は民間ですべきであるというのが基本的な考え方であり、民業の圧迫も含め、さまざまな観点から反対せざるを得ないとの意見が出されたところであります。

採決の結果、本案は、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、請願第2号 市道上伊佐沢小屋敷線改良整備工事の施行についてのご説明を申し上げます。

本請願は、上地区長渋谷利弘氏を代表として、関係地権者の同意のもとに提出されたものであります。本請願の趣旨とするところは、当該市道は幅員が非常に狭く、除雪作業中に重機の車輪が素掘りに落ちるなど、特に冬期間や非常時の通行に苦慮しているため、安全な生活道路として改良整備工事の施行を早期にお願いしたいというものです。

質疑に入り、委員からは、請願という住民の権利を認知して活用されている地区と、そうでない地区との道路整備について、順位づけをしていかなければならない時期に来ていると思うがどうかとの質疑がなされ、建設課長からは、平成16年あたりを最後に請願は出ていない。財政が厳しく、請願しても実現は無理ではないかという市民の認識があると思っている。小さ

なものまで順位づけは考えていないが、相当お金のかかる補修については順位づけは必要だと思う。地区内の順番をつけていただくよう地区長さんをお願いしたいと考えている。地区から提出されたものを地区長連合会で協議、整理していただき、年度計画を立てて整備していきたいとの答弁を受けたところであります。

採決の結果、本請願は、全員一致で採択すべきものと決定いたしました。

以上で産業・建設常任委員会に付託になりました案件審査の報告を終わります。

○小関勝助議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○小関勝助議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第3、議案第51号 宅地開発事業用地の取得についての1件について、討論の通告がありますので発言を許可いたします。

議席番号5番、小関秀一議員。

（5番小関秀一議員登壇）

○5番 小関秀一議員 おはようございます。

今議会に提案されております議案第51号 宅地開発事業用地の取得については、反対の立場で討論をさせていただきます。

この事業については、平成24年3月定例会の議案第10号、第28号、さらには平成25年3月定例会の議案第11号によって、それぞれの審議の中で議論をされてきた事業であります。

少子高齢化時代の中で、今後の定住促進、人口維持を目指し、住宅投資の波及効果による地元経済の活性化等、今般の事業の目的であるとされておりますが、これまでの議論の中でも、かつての当市での土地開発公社など大きな市民の負担のあった事業の反省に立ち、行政が宅地開発を直接担う立場ではなく、民間の事業の支援、環境づくりやお手伝いをする立場であると

の意見が多く出されております。

また、近年、市全体に空き家、空き地の課題もあり、こうした課題の解決に行政の対応こそ、まちづくり、土地利用の対策として今望まれている時代に入っており、以下の理由により、本議案については反対をするものであります。

1つ目、本事業の完了年度が明確になっていない。したがって、市の財政面での大きな不安要素があるということであります。

2つ目、宅地開発の業務経験が乏しいなどを理由に、当初、山形県住宅供給公社を事業主体とするという方針でスタートしたわけですが、それがかなわず、設計時から売までの諸費用については持ち出しが危惧される。公社については、平成32年に廃止という県の方針が出されております。28年にこの事業が売で完了したいという方針であれば、大事業を手がけた県の公社が、アドバイスではなく責任を持っていないという立場が理解できません。

3つ目、景気低迷と、今後、来年、再来年、消費税増税などで宅地開発の展開には大きな社会的な経済不安があるにもかかわらず、さらに、既に当初計画より事業内容が面積、販売価格で大きく変わってきていることでもあります。

4つ目、市のほかの保有地の有効利用が十分にまだ図られていないこと。

5つ目、今般の用地価格が、当市全体の固定資産評価額に大きく影響することが危惧されることでもあります。

6つ目、市内と市外の購入者の優遇措置等が明確にされておられません。

最後に、民間の宅地開発、宅地分譲事業等でさまざまな課題が残されている中、行政の宅建事業については、民間事業者の経営、特に貸し家、アパート業等に及ぼす影響が大きく心配される。

以上の観点から、本議案については反対するものであります。

○小関勝助議長 通告による討論が終わりました。
これから採決いたします。

議案第51号について、産業・建設委員長長の報告は、原案可決であります。

産業・建設委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)

○小関勝助議長 起立多数であります。

よって、議案第51号は、産業・建設委員長報告のとおり決定いたしました。

次に、日程第4、請願第2号 市道上伊佐沢小屋敷線改良整備工事の施行の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

請願第2号について、産業・建設委員長長の報告は、採択であります。

産業・建設委員長報告のとおり決するにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○小関勝助議長 ご異議なしと認めます。

よって、請願第2号は、産業・建設委員長報告のとおり決定いたしました。

予算特別委員会審査報告

○小関勝助議長 次に、予算特別委員会の審査の報告を求めます。

大道寺 信委員長。

(大道寺 信予算特別委員長登壇)

○大道寺 信予算特別委員長 平成25年第4回市議会定例会において予算特別委員会に付託になりました議案第54号 平成25年度長井市一般会計補正予算第2号について、審査いたしました経過と結果についてご報告申し上げます。

予算特別委員会は、会議日程に従い、6月20日、21日の2日間にわたり審査を行いました。

審査に当たっては、補正予算の概要について担当課長から説明を受けた後、6名の委員の総括質疑が行われ、終了後に細部審査が行われました。

その経過につきましては、議長を除く全員で構成する委員会での審査でありますので、ここで再び審査の状況、経過などについて申し上げることを省略させていただき、後刻、会議録によりご承知くださいますようお願い申し上げます、審査の結果のみご報告申し上げます。

議案第54号 平成25年度長井市一般会計補正予算第2号につきましては、安部 隆委員ほか2名の委員から修正案が提出されましたので、提出された修正案について提案者から説明を受けた後、質疑、討論を行い、まず修正案について採決した結果、賛成少数で否決されました。続いて、修正案が否決されたため原案について採決した結果、賛成多数で可決すべきものと決定いたしました。

以上が審査の結果であります。当局におかれましては、審査の過程で委員各位から出されました質疑、意見等について十分に意を用いられ、事務の執行に当たられるよう申し上げ、予算特別委員会の審査の報告を終わります。

○小関勝助議長 委員長の報告が終わりました。

ただいまの報告に対し、ご質疑ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○小関勝助議長 質疑もないので、質疑を終結いたします。

それでは、日程第5、議案第54号 平成25年度長井市一般会計補正予算第2号の1件について、討論の通告がありませんので、討論を終結し、採決いたします。

議案第54号について、予算特別委員長の報告は、原案可決であります。予算特別委員長報告のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

(起立多数)